

Allegro assai
Baritone Solo



Freu - de, Freu - de, Freu - de, s

Allegro assai

Ob. Clar. dolce Fag. Archi pizz. pp Clar. I

Göt - ter - fun - ken, Töch - ter - aus B. War be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Him - ni - sche dein, Hei - lig - tum, ne au - ber bin - den wie - der, was die Mo - de

streng ge - teilt, al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

Legni

cresc. p

第九

春日井市制80周年記念・第30回記念



2023春日井市民第九演奏会

とき 2023.12.10 (日) 15:00開演

ところ 春日井市民会館

主催／春日井市・春日井市教育委員会・公益財団法人かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会

共催／春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援／中部大学・中日新聞社



2023春日井市民第九演奏会実行委員会名誉会長

春日井市長 石黒 直樹

本日は、2023春日井市民第九演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

本演奏会は、平成5年に市制50周年記念事業として開催して以来、今年で30回目を迎えます。市民が団員となって活動する合唱団と交響楽団の演奏会として、長きにわたり親しまれ、本市の年末の恒例行事となりましたことは大変喜ばしく、これも団員として活動いただいております皆様方の熱意と、井村誠貴氏を始めとする歴代の音楽監督・指揮者、関係者の皆様方のご尽力の賜物と、心から敬意と感謝を申し上げます。

今回は市制80周年を記念し、市民の歌として市制35周年時に誕生した古関裕而作曲「わがまち春日井」の特別演奏があります。私も大好きな曲、市民の皆様と心を合わせて鑑賞できましたらと思っております。また、第30回の節目にふさわしく喜歌劇「こうもり」(抜粋)が、ソリストの方々、成瀬ひろみバレエスタジオの賛助出演で演奏されます。こちらも楽しみいただけることと期待しております。

希望に満ちた新年を迎える想いのひとときとして、重厚なオーケストラと華麗な歌声、バレエが彩る第九の調べを、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。



2023春日井市民第九演奏会実行委員会会長

中部大学長 竹内 芳美

本日は「2023春日井市民第九演奏会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。2023年は春日井市制80周年という大きな節目の年です。そして、1993年に市制50周年を記念して始まったこの演奏会も30回目という大きな節目を迎えます。

今回も音楽監督・指揮者には井村誠貴氏、加えまして4人のソリスト、小林厚子、相可佐代子、松本薫平、池田真己の各氏をお招きし、NHK連続テレビ小説『エール』で主人公のモデルとなった古関裕而作曲の『わがまち春日井』を皮切りに、春日井に思いを馳せていただきます。

引き続き、年の瀬を締めくくる「第九」の合唱をお届けします。この「第九」の合唱は、個々の声がひとつになり、響き合うことで生まれる魔法のようなものを持っています。歌声が心を奮立たせ、喜びや悲しみ、感動を共有する瞬間は、人々を結びつけ、共鳴させる不思議な力を持っています。それが春日井市民第九演奏会の力強い魅力の源だと信じています。いつの時代も人々を魅了するこの「歓喜の歌」を心ゆくまでご堪能ください。



2023春日井市民第九演奏会

音楽監督 井村 誠貴

《創生・進化、そして未来へ》

いよいよ春日井市民第九演奏会が30回の節目を迎える。市制50周年を期に、第九演奏会を企画・実行された先人の強い思い、そして実現に向けたご努力は、私達の大きな力の源となり、更なる進化を成し遂げてきた。

この30年を振り返っても、決して順風満帆には行かなかった事も多くあったであろう。合唱団員の高齢化、オーケストラ団員の人員不足は、第九演奏会の継続開催をしていく上で、大きな問題であった。それでも、それぞれに知恵を絞り、何よりもご鑑賞戴く皆様に喜んで戴ける演奏会を創るべく、出演者が一致団結して、難局を乗り越えて来た。そんな中、2020年に新型コロナウイルス感染症の流行。私達はなす術もなく開催中止という辛い選択を強いられた。このまま春日井市の第九は途切れてしまうのかとも思われたが、春日井市第九を大切に想ってくださる市民の皆様の後押しを得て、翌年には変則開催にこぎつけた。昨年は人数制限やマスク着用を条件に開催。そして、いよいよ本年は制限無しの第九演奏会が実現する。

節目となる30回記念演奏会は決してゴールではない。むしろ、withコロナ元年と位置付けされる、未来へのスタート地点と言ってもいい。全国的に見ても、行政、更には地元の大学(中部大学)、企業がバックアップして行う第九演奏会は、春日井市だけであろう。市民に愛され、オール春日井で取り組むこの第九演奏会。未来に向けたスタートライン。市民の皆様と共に、次代を担う子ども達の為にも進化し続けなければならない。





プログラム Program

古関 裕而 作曲

わがまち春日井

ヨハン・シュトラウス2世 作曲
Johann Strauss II (1825~1899)

喜歌劇『こうもり』より抜粋

序曲／2幕フィナーレより「シャンパンの歌」、「もう結構じゅうぶんだ！（我々も共に）」
『Die Fledermaus』

Overture／Finale II～"Im Feuerstrom der Reben"、"Genug damit, genug!"

ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲
Ludwig van Beethoven (1770~1827)

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

Symphony No. 9 in D minor op.125"Choral"

- 第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ エ ウン ポコ マエストーソ
1st mov. Allegro ma non troppo e un poco maestoso
- 第2楽章 モルト ヴィヴァーチェープレスト
2nd mov. Molto vivace – Presto
- 第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ－アンダンテ モデラート
3rd mov. Adagio molto e cantabile – Andante moderato
- 第4楽章 フィナーレ：プレスト－アレグロ アッサイー－レシタティーヴォ－アレグロ アッサイ
4th mov. Finale: Presto – Allegro assai – Recitativo – Allegro assai



管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」オーケストラです。1990年に創設され、現在、団員は約50名で、毎年7月の定期演奏会と12月の第九演奏会を中心にオーケストラ活動を行っています。本年の第九演奏会は市制80周年並びに通算30回目を記念した演奏会ということで、いつも以上に気持ちのこもった演奏ができるよう取り組んでいるところです。また、第九に先立って演奏する「こうもり」では、これまで度々共演の機会があった成瀬ひろみバレエスタジオの皆さんと再びの共演となりますが、若い人たちのひたむきに取り組む姿勢を拝見させていただくことは、私たち楽団員にとっても良い刺激になります。今後も、様々な場面で良い音楽をお届けできるよう努めていきたいと考えていますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。最後になりますが、第九演奏会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(団長 後藤 哲也)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、1993年(平成5年)春日井市制50周年記念行事として開催された「第九演奏会」の初演を機に市民公募により結成されました。その後、毎年団員を公募し、12月に開催される市民による手作りの「第九演奏会」に向け、音楽監督、各合唱指導の先生方の熱心な指導のもと、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番二短調作品125」"合唱"を歌い継ぎ、本年で30周年(30回目)の節目を迎える事になりました。その間紆余曲折、コロナ禍で2020年度の「第九演奏会」は中止となり、2021、22年度は厳しい状況下にありましたが、万全の感染防止対策を施し、無事演奏会を開催することが出来ました。今年度も6月に結団式を行い、前向きな強い気持ちを持った団員130名がハーモニーを大切に練習に励んできました。本番では、団員一体となった心からの「歓喜の歓び・歌声・叫び」を観客の皆様へ捧げ、「今できる、最良の第九演奏会」にしたいと思います。最後に、第九演奏会開催に際し、いつも以上にご尽力を頂きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも末永く、ご支援を賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

(団長 黒澤 清海)

出演者紹介 Profile



指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積む。オペラレパートリーは50演目を超え、中でも喜歌劇楽友協会におけるJ. シュトラウスⅡ「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集めた。2001年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になる。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。さらにOsaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)、シエナ・ウィンド・オーケストラ等の吹奏楽団との関係も深くその分野でも注目を集めている。ミュージカルでは「レ・ミゼラブル」「マイ・フェアレディ」「ラ・カーヂュ・オ・フォール」等のロングラン公演を指揮。また、岩崎宏美や、南こうせつ、夏川りみとの共演や、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン!」と題して、1日でベートーヴェンの全交響曲を1人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5,400万円を超える義援金を届けた。指揮を湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMF I 指揮者。春日井市民第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから『集』代表。



ソプラノ 小林 厚子 Atsuko Kobayashi

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。藤原歌劇団には諸役を経て「蝶々夫人」でタイトルロールデビュー。同役は度々出演を重ね、「ナヴァラの娘」「イル・トロヴァトーレ」「トスカ」等にも主演し、いずれも高い評価を得ている。また、新国立劇場には高校生のためのオペラ鑑賞教室公演「蝶々夫人」「トスカ」に主演、'19年「トスカ」では急遽代役を務め、'21年には「ワルクューレ」ジークリンデ、「ドン・カルロ」エリザベッタにも登場し成功を取めた。'23年チョン・ミョンフン指揮、東京フィル演奏会形式「オテッロ」デズデーモナに出演。藤原歌劇団団員。



アルト 相可 佐代子 Sayoko Oka

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏。同劇場において歌曲リサイタル他、パリ・アテネ劇場や音楽祭にも出演。劇場研修後、エコールノルマル音楽院よりルーセル奨学金、バステギ奨学金を得て研鑽、高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も『カルメン』(タイトルロール)など多数のオペラに出演。ベートーヴェン『交響曲第9番』『ミサソレムニス』、マーラー『交響曲第3番』等のソリストも数多く務める。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学で後進の指導にもあたる。NHK-FM『名曲リサイタル』出演。2012年津市文化奨励賞。ソロリサイタルにおいて、2014年名古屋音楽ペンクラブ賞、2010年、2018年には名古屋市民芸術祭賞受賞。



テノール 松本 薫平 Kunpei Matsumoto

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学卒業。大学卒業後イタリアに渡り研鑽を積む。オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでオペラデビューし、その後「蝶々夫人」「カルメン」「ランメルモールのルチア」「椿姫」「リゴレット」「外套」「トロヴァトーレ」「ドン・カルロ」「オテロ」「道化師」「トゥーランドット」「トスカ」などに主演している。また、ベートーヴェン「交響曲第9番」などのソリストとしても活躍。数々のコンクールで入賞入選の他、平成13年度兵庫県芸術奨励賞、平成16年度神戸市文化奨励賞、平成20年度咲くやこの花賞、平成22年度神戸キワニス文化賞他受賞。現在、神戸女学院大学教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。藤原歌劇団団員。



バリトン 池田 真己 Masaki Ikeda

1990年生まれ。大阪と京都の境目、大阪府島本町在住のバリトン歌手。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第37回飯塚新人音楽コンクール第2位。第九日本初演の聖地、鳴門市でバリトンソロデビュー。これまで「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「赤い陣羽織」代官、日生劇場NISSAY OPERA「ヘンゼルとグレーテル」父、2023年三河市民オペラ「アンドレア・シェニエ」ルシェなど多数のオペラに出演。指揮の井村誠貴氏とは各地で共演し、春日井市民第九演奏会へは今回で3度目の出演。また地元で「島本ジュニアコーラスくすのキッズ」を立ち上げ、日々子供達と音楽を楽しんでいる。サントリー1万人の第九指導者。神戸市混声合唱団団員。stand.fmで音声配信「気分屋の時間」を毎日配信中。



客演コンサートマスター

平光 真弥 *Shinya Hiramitsu*

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2005年、同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて、聴衆賞、オーナー賞も獲得。2007年、2010年及び2012年小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞も同時受賞。これまで、プラハ放送交響楽団等ソリストとして多数のオーケストラと共演。2000年からウイーン岐阜管弦楽団、2004年～2021年3月愛知室内オーケストラのコンサートマスターを務めるほか、神戸室内合奏団などの客演コンサートマスターを務める。クラシック音楽を親しみやすくより身近に感じてもらうために、サロンコンサートや学校アウトリーチ等も精力的に行い地域に根ざした音楽活動を展開。愛知県立芸術大学非常勤講師。2022年4月～中部フィルハーモニー交響楽団常任客演コンサートマスター。平成29年度愛知県芸術文化選奨新人賞受賞。



合唱指導

松下 伸也 *Shinya Matsushita*

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。在学中より演奏活動を開始し、名古屋二期会、名古屋オペラ協会等にて主要キャスト、また第九等コンサートソリストとして多数出演する。その演奏経験を活かした合唱団指導は第九（ドイツ語）、メサイア（古語英語）、ミサ曲（ラテン語）の他フランスオペラ、イタリアオペラ合唱や邦人作曲家による新作品等多岐にわたり、声楽家として確立された発声メソッドと最後まで団員を信頼し、寄り添った指導で中学校や企業合唱団の講師としてもたびたび招聘されている。コンサートグループ「花の詩」会員として文化スポーツ都市宣言をした春日井市の芸術活動の一翼を担う他、北名古屋音楽芸術協会ムジカフェンテ、守山の文化を考える会各会員。近年では音楽のすそ野を広げるべく障がい者や小さいお子様のためのおしゃべりつきコンサートやサロンコンサートを企画・出演の他、愛知淑徳大学福祉貢献学部准教授として保育士養成校の表現活動の指導にも関わる。岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師。声楽を福島明也、故・矢田部義弘、末吉利行の各氏に師事。



合唱指導

西畑 佳澄 *Kasumi Nishihata*

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院声楽専攻首席修了。これまでに、故田中万美子、佐橋美起、末吉利行、各氏に師事。現在、愛知県を中心に、オペラや演奏会に多数出演している。合唱音楽の分野においては、合唱指揮者、合唱指導者、ヴォイストレーナーとして多様で豊富な経験を積んでいる。現在、愛知東邦大学教育学部非常勤講師。春日井市民第九合唱団、知多市勤労文化会館第九合唱団、アーチ・ヴォイス長久手、合唱指導者。



賛助出演

成瀬ひろみバレエスタジオ

成瀬ひろみバレエスタジオは1996年に創設され春日井市を拠点に活動しています。2歳～70代の方まで幅広い年齢層に支持されています。バレエは、音楽に合わせてスキップをする、手を叩いてリズムをとることから始まり、だんだん難しいステップを組み合わせていろんな踊りに挑戦していきます。年に1回の発表会では他スタジオには見られない創作バレエを行い、今年は「リトル・マーメイド」で好評を得ました。近年、海外留学を果たす生徒も増え、教室内は活気付いています。ハロウィンパーティ、運動会、バレンタインウィークなど教室行事も多く異学年との交流を通じて心も大きく成長しています。2018年に引き続き春日井市市制80周年事業にご縁を頂いた事に感謝し、共演いただく皆さん、そしてお客様との時間を楽しみたいと思います。

ピアノ伴奏 竹内 理恵 近藤 杏美 奥村 明子
 管弦楽指導 長縄 洋
 弦指導 平光 真弥 石橋 隆弘 松原 宣子



交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

「真の愛」を求める旅路、歓喜の歌

楽聖ベートーヴェンが人類に残した史上最高の芸術作品、それがこの交響曲第九番、通称「第九」だ。1770年ドイツに生まれ、数々の名曲を発表してきたベートーヴェン。そのどれもが音楽史に変革をもたらす重要な作品であることは言うまでもない。青年期には、即興ピアニストとして名をはせ、「交響曲の父」ハイドンの元で管弦楽法を学び始めるのだが、もはや、第一交響曲から独自の世界観を展開。20代後半には音楽家としては致命的な「難聴」に苦しむも、「遺書」の中で『私の命は、芸術に全てを捧げる』と宣言してからのベートーヴェンは、1804年の交響曲第三番「英雄」の発表を皮切りに「傑作の森」と呼ばれる最盛期へと突入する。42歳のころ、のちに「不滅の恋人」と記されたラブレターのお相手であるアントニアと出逢い、交響曲第八番を彼女に捧げるも、その恋は実らず、ベートーヴェンはその後10年ほど作曲活動から遠ざかってしまうのであった。作曲活動を再開したベートーヴェンが1824年に発表した作品こそが「第九」であった。

ベートーヴェンは、これまでの作曲家(ハイドンやモーツァルト等)達とは大きく異なる立場で音楽活動を展開した。それは、宮廷に仕えて皇帝等の命を受けて作曲するのではなく、自身が書きたいものを作曲し、それを献呈という形で買い取ってもらう、言わば音楽を商売にした最初の人であった。宮廷作曲家が長調(明るい)作品を多く作り出したのは、当然皇帝を称える作品が多いからで、自分の意志を貫いたベートーヴェンの作品に短調(暗め)の作品が多いのも頷ける。

さてさて、いよいよ「第九」の本題に入ろう。音楽史上、初めて交響曲に声楽を入れた作品として知られている「第九」ではあるが、実際には、ベートーヴェン以前にも他の作曲家で声楽を入れた交響曲作品は存在していた。ただ・・・売れなかった、有名にならなかった。結果、この「第九」は初めての作品として認識されている。また、全四楽章で75分に及ぶ膨大な作品も当時の交響曲としては異例であった。因みに・・・CD(コンパクトディスク)のサイズが決まったのも、この「第九」が一枚で収まる大きさでというエピソードもある。

「第九」を一つの「旅路」に例えて解説してみよう。第一楽章冒頭では「空虚5度」と呼ばれる、長調とも短調とも判らない不安定な和音から音楽は始まる。これは「何色にも染まらない調」として開始されるのだが、ある意味、その最後のピースを探す長い旅路の始まりを告げるものとして秀逸の始まりだ。第二楽章では、交響曲第七番でも使用された「ディオニソスのリズム」に乗ってティンパニが強奏。中間部のオーボ

エソロにも注目!この楽章は膨大な「繰り返し」があり、一般的にはカットされることも多いが、本日の演奏では、ベートーヴェンの指示通りノーカットで演奏する。実はこの楽章にも、合唱を入れる構想があった。結果的には合唱を付されなかったが、その名残りとして、トロンボーンが使用されているのも注目ポイントだ。美しいハーモニーを聴かせてくれることだろう!ベートーヴェンが残した全ての楽曲の中で最も優美な作品(と私は思っている)として知られる第三楽章。この楽章には「フリーメイソン(友愛結社)」が大きく影響しているとも言われている。ベートーヴェン自身は、フリーメイソンの名簿にその名の記載がないため、フリーメイソンではないとされているが、前述のように音楽を商売にしたベートーヴェンにとっては、フリーメイソンが気に入る作品を書いて売り込んでいても不思議ではない。違った側面でのこの楽章を見ると、まるで「フリーメイソン入会の手引き」の様な作品構成になっているのも面白い。冒頭の弦楽器の主題は「これほどの美しい世界があるであろうか!」と言わんばかりに音楽が奏でられる。第二ヴァイオリンとヴィオラで奏される三拍子は、まるでお花畑の散歩道の様!しかし、その花畑を抜ける頃には、楽譜上に「Morendo」という言葉が。Morendoとは音楽用語で「死に絶えていく」という意味になるのだが、これは、新たな人生を獲得する為に、これまでの人生に終止符を打つという意味にも捉えられるのだ。フリーメイソンに入会すれば新しい自分を手に入れる事ができるという解釈にもつながる。いよいよフリーメイソン入会の「門」に差し掛かるとトランペットのファンファーレが鳴り響く。これはモーツァルトの「魔笛」(モーツァルトが作曲したオペラで、フリーメイソンの教えを忠実に盛り込んだ作品として有名)の序曲と同様に、3和音の3連打が打ち鳴らされる。この「3」という数字こそフリーメイソンを象徴する数字で、同じように3回のノックから始まるフリーメイソンの開式とも類似している。3連打でその門は開かれるが、門の向こう側にあったものは「無」の音楽である。おそらく、華やかさや物欲で満たされるものではなく、心の豊かさ、俗物をそぎ落とした「真の幸福」を勝ち取るものとして提示されているのであろう。さて!いよいよ第四楽章。「恐怖ファンファーレ」と呼ばれる不協和音から開始される音楽。チェロとコントラバスが朗々と語りかけてくる。「この音楽(恐怖ファンファーレ)は我々に絶望を与える」「(第一楽章のテーマのあと)これも違う。もっと快いものだ。」「(第二楽章のテーマのあと)これもダメだ。良くなっていない。ただ少し晴やかなだけだ。」「(第三楽章のテーマのあと)これも甘美すぎる。何か目を覚まさせる・・・歌って聴かせたくなるもの・・・」「(第四楽章のテーマのあと)ハハハ!これだ!ついに見つけたぞ!」実はこの第四楽章の「歓喜のテーマ」は自身が若い頃のスケッチ(下書き)にも登場するメロディであった。シラーの「歓喜に寄せて」という頌歌を得て、いよいよ「第九」

の完成へと導かれて行くのだが、このシラーの詩として知られている「歓喜の歌」は、ベートーヴェン自身によってかなり改定されている。語順を変えたり、シラーが拘っていなかった言葉“Tochter”(娘)を多用したり・・・話を「旅路」に戻してみよう。この「第九」は“Elysium”(楽園)を探し求める旅である。この楽園は、現生の楽園ではなく、死後の楽園を指している。第三楽章でフリーメイソンを思わせる音楽にも触れたが、ベートーヴェンは「本当の幸せ」を求めたのではないだろうか? 「楽園には娘たちが・・・」この言葉は、きっと、これまで恋が実らなかった多くの女性を指す言葉と解釈すれば、多用される意味も理解できる。『伯爵令嬢ジュリエッタ、テレーゼ(エリーゼ)、アントニア・ブレンターノ達が天国で私を待っている!』そんなベートーヴェンの言葉が聞こえてきそうである。家族愛に恵まれなかったベートーヴェンが、「真の愛」を求めて長い旅路を進むこの作品は、我々に「何」を呼び掛けているのか? 私たちはこの作品を通して皆様に「何」を届ける事ができるのか? 私たちの旅路は、まだまだ30年。この先も春日井市民の皆様様に「真実の愛」を届け続けていく旅路の足取りを止めてはならない。

喜歌劇「こうもり」より抜粋

「こうもり」は踊るのか!?

春日井第九30回目を記念して演奏するのはヨハン・シュトラウス2世が作曲したオペレッタ「こうもり」。ウィーンでは毎年12月になると各劇場で最も多く上演される人気の作品だ。日本では年末の風物詩として定着した「第九」だが、ヨーロッパ各地では「こうもり」の上演が風物詩となっている。しかしまあ「こうもり」だなんてイメージの悪いタイトルですよ! これには、ちょっとしたいわくが! 物語は本編が始まる1年前に遡る。ある仮装舞踏会で、主役のアイゼンシュタインは蝶々の格好に、親友ファルケはこうもりの仮装で舞踏会に興じていたのだが・・・。帰り道で酔っ払っていたファルケを街の公園に置き去りにして帰ってしまったのが事の発端! 翌朝目が覚めると黒山の人だかり! こうもりの格好のまま放置された事で、ファルケはそれ以来「こうもり博士」という悪名は着せられてしまった。『いつかアイゼンシュタインに復讐を!』とチャンスを伺っていた所から物語は始まる。

今回皆様にお聴き戴くナンバーは、「こうもり」の中でも最も有名で、演奏される機会が多い「序曲」からお聴き戴こう! KAPOでも2017年の定期演奏会で取り上げた。序曲とは、オペラやオペレッタ等の物語が始まる前に演奏される曲のことで、いわゆる「まえがき・あらすじ」の様な曲。特にこの序曲は、物

語の本編にも登場する音楽がふんだんに使われており、ある意味、この序曲を聴くと「こうもり」全編に渡る素敵な音楽を殆ど堪能できてしまうという秀逸な作品! そして連続して演奏する2幕フィナーレ「乾杯の歌(シャンパンの歌)」。オペラ界で最も有名な「乾杯の歌」と言えば、イタリアの作曲家ヴェルディが作曲した歌劇「椿姫」の乾杯の歌。実はこの「こうもり」はある意味「椿姫」のパロディ作品でもあるのだ! 「椿姫」に登場する主役アルフレード。なんと「こうもり」にもアルフレードが登場するのだ! (今回は出演しないが・・・) 「こうもり」ではオペラ歌手(音楽教師)として登場するのも「椿姫」が大きく関係している。しかも! このアルフレードは、主人公アイゼンシュタインの妻ロザリンデの元恋人ときたものだから、もうドタバタ喜劇! 『泡立つ酒の王に乾杯! キングシャンパン!』

続いて演奏されるのは、同じく2幕フィナーレの幕切れで歌われるワルツ『我々も共に!』。パーティーの主催者ロシアの大富豪オルロフスキーが催す仮面舞踏会。ここでは刑務所に出頭するはずのアイゼンシュタインと逮捕する側の刑務所長フランクが意気投合! それを横目で笑うファルケ。自分の妻だとも知らず、仮面を付けたロザリンデを口説くアイゼンシュタインもまた滑稽! これ全てがこうもり博士ことファルケが仕組んだ復讐劇! 朝6時を告げる鐘の音で、慌てて刑務所に出頭するアイゼンシュタインと、職務の遂行のため、急ぎ職場へと向かうフランク。もちろん二人の行き先は同じ刑務所!(笑)

序曲にも登場する珠玉のワルツに花を添えてくれるのは【成瀬ひろみバレエスタジオ】の天使たち! 未来のバレリーナ達にも注目!!

踊るオペレッタ「こうもり」から目が離せない!





30年の歩み History

会場:第1回は春日井市総合体育館
第2回以降は春日井市民会館

西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
第1回 1993年 (平成5年) 12月5日	市制施行50周年記念行事として 第九演奏会が初めて開催される 音楽監督 都築正道 指揮 石丸寛 ソプラノ 宇佐美 瑠璃 アルト 郡 愛子 テノール 福井 敬 バリトン クラウス オッカー コンサートマスター 岩田 徹 合唱指導 吉川 朗、水谷 朋子、鈴木 まみ 管弦楽 春日井市交響楽団 128名 合唱 Xmasの夕べ第九合唱団 465名 入場者数 3624名		初代会長に鶴飼 一郎(春日井市長)就任 〈春日井市〉 春日井市制50周年 落合公園にフォーリー・水の塔が完成 サンフロッグ春日井開設 城北線全線開通 〈社会〉 J.リーグ はじまる 皇太子(現天皇陛下)御成婚
第2回 1994年 (平成6年) 12月11日	菰田 なお子作曲 交響詩「春日井の四季」(初演) 音楽監督 都築正道 指揮 竹本 泰蔵 ソプラノ 松波 千津子 アルト 竹田 弥加 テノール 江端 智哉 バリトン クラウス・オッカー コンサートマスター 松浦 宏 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 82名 合唱 春日井第九合唱団 184名 入場者数 1000名 ※ 全自由席 1,000円		初代名誉会長に鶴飼 一郎(春日井市長)就任 会長に山田 和夫(中部大学長)就任 ※以降、名誉会長を春日井市長が務める。 〈社会〉 松本サリン事件 中華航空機事故
第3回 1995年 (平成7年) 12月10日	音楽監督 都築正道 指揮 ホセ・コントレーラス ソプラノ クララ・ミラー アルト ジョイス・カンパーナ テノール カール・タナー バリトン マーク・ワトソン コンサートマスター 岩田 徹 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 86名 合唱 春日井第九合唱団 203名 入場者数 1000名		〈春日井市〉 東名阪自動車道勝川インターチェンジ開通 国道19号バイパス全線4車線化 〈社会〉 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件
第4回 1996年 (平成8年) 12月1日	音楽監督 都築正道 指揮 高橋 直史 ソプラノ 林 正子 アルト 穴澤 ゆう子 テノール 湯川 晃 バリトン 泉 良平 コンサートマスター 水谷 聡志 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 84名 合唱 春日井第九合唱団 195名 入場者数 900名		〈社会〉 たまごっちブーム 携帯電話1000万台突破
第5回 1997年 (平成9年) 12月7日	音楽監督 都築正道 指揮 アレクサンダー・ドゥルカー ソプラノ 松波 千津子 アルト 森山 京子 テノール 大間知 寛 バリトン 稲垣 俊也 コンサートマスター 加藤 悦司 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 78名 合唱 春日井第九合唱団 199名 入場者数 850名		〈社会〉 消費税5%にUP ダイアナ妃交通事故死

西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
--------	-------	----------	-------

第6回
1998年
(平成10年)
12月6日

音楽監督 都築 正道
指揮 エルンスト・タイス
ソプラノ 塚田 京子
アルト 玉敷 やよい
テノール 森岡 謙一
バス 蓮井 求道
コンサートマスター 中川 さとこ
合唱指揮 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 73名
合唱 春日井第九合唱団 244名
入場者数 1000名



〈春日井市〉
現在の市民病院開設

〈社 会〉
長野冬季五輪
明石海峡大橋開通

第7回
1999年
(平成11年)
12月5日

文化フォーラム春日井開館記念
音楽監督 都築 正道
指揮 ダニエル・ホーイェム・カヴァッツァ
ソプラノ 小林 史子
アルト 小川 明子
テノール 小山 陽二郎
バス 稲垣 俊也
コンサートマスター 加藤 莞二
合奏指揮 加藤 莞二
合唱指揮 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 82名
合唱 春日井第九合唱団 229名
入場者数 1038名



99春日井市民第九演奏会 1999.12.5 春日井市民会館

〈春日井市〉
文化フォーラム春日井開設

〈社 会〉
2000年問題
だんご3兄弟

第8回
2000年
(平成12年)
12月3日

音楽監督 都築 正道
指揮 パロマ・ノグエス
ソプラノ 中西 麻貴
アルト 福原 寿美枝
テノール 許 昌
バス 稲垣 俊也
コンサートマスター 加藤 莞二
合奏指揮 加藤 莞二
合唱指揮 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 84名
合唱 春日井第九合唱団 213名
入場者数 800名



〈社 会〉
シドニー五輪
2000円札
東海豪雨

第9回
2001年
(平成13年)
12月2日

音楽監督 都築 正道
指揮 アレキサンダー・ドゥルカー
ソプラノ ミケーラ・ズプラーティ
アルト 牧野 真由美
テノール 平尾 憲嗣
バス 稲垣 俊也
コンサートマスター 加藤 莞二
合奏指揮 加藤 莞二
合唱指揮 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 78名
合唱 春日井第九合唱団 206名
入場者数 858名



会長に三浦 昌夫(中部大学学監)
就任

〈春日井市〉
特例市へ移行

〈社会〉
アメリカ同時多発テロ
イチローメジャーリーグ新人賞

第10回
2002年
(平成14年)
12月1日

音楽監督 都築 正道
指揮 ジョアッキーノ・ロンゴバルディ
ソプラノ 並河 寿美
アルト 児玉 祐子
テノール 小貫 岩夫
バス 片桐 直樹
コンサートマスター 加藤 莞二
合奏指揮 加藤 莞二
合唱指揮 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 72名
合唱 春日井第九合唱団 214名
入場者数 917名






















〈春日井市〉
かすがいげんきっ子センター開設
かすがいシティバス運行開始
(市内循環バスおよび施設連絡
バスを再編)

〈社 会〉
サッカーWカップ日韓開催
ソルトトレックシティー冬季五輪



30年の歩み History



西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
第11回 2003年 (平成15年) 12月7日	春日井市制施行60周年記念 音楽監督 都築 正道 指揮 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ ソプラノ 並河 寿美 アルト 児玉 祐子 テノール 小貫 岩夫 バス 片桐 直樹 コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 73名 合唱 春日井第九合唱団 209名 入場者数 944名		〈春日井市〉 春日井市制60周年 〈社 会〉 冬ソナブーム 世界で一つだけの花
第12回 2004年 (平成16年) 12月5日	音楽監督 都築 正道 指揮 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ ソプラノ 百々 あずさ アルト 野上 貴子 テノール 川野名 康夫 バス ロビン・アダムズ コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 92名 合唱 春日井第九合唱団 227名 入場者数 1012名		〈社 会〉 アテネ五輪 新潟中越沖地震
第13回 2005年 (平成17年) 12月4日	音楽監督 都築 正道 指揮 アレキサンダー・ドルチャー ソプラノ 久保 かしづ アルト 牧野 真由美 テノール 川野名 康夫 バス アルベルト・バーゼンドルファー コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 86名 合唱 春日井第九合唱団 251名 入場者数 958名		〈春日井市〉 人口が 30万人を超える 〈社会〉 愛・地球博 セントレア開港
第14回 2006年 (平成18年) 12月3日	音楽監督 都築 正道 指揮 マーク・ライベル ソプラノ 福住 恭子 アルト 宮澤 優子 テノール 平尾 憲嗣 バス ダニエル・オーレンシュレーガー コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 89名 合唱 春日井第九合唱団 235名 入場者数 936名		〈春日井市〉 伊藤 太氏 市長就任 〈社 会〉 トリノ冬季五輪
第15回 2007年 (平成19年) 12月2日	音楽監督 都築 正道 指揮 アレクサンダー・シュタイニッツ ソプラノ 福住 恭子 アルト 櫻井 裕子 テノール 包 金鐘 バス 松澤 政也 コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 72名 合唱 春日井市民第九合唱団 216名 入場者数 970名		春日井第九合唱団を 「春日井市民第九合唱団」と改称 〈春日井市〉 ささえ愛センター開設 〈社 会〉 年金記録問題

西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
第16回 2008年 (平成20年) 12月7日	市制65周年記念 音楽監督 都築 正道 指揮 ゲリット・プリースニッツ ソプラノ 福住 恭子 アルト 北澤 幸 テノール 松本 薫平 バリトン 呉 承容 コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 76名 合唱 春日井市民第九合唱団 238名 入場者数 1012名	    	〈社 会〉 郵政民営化 北京五輪
第17回 2009年 (平成21年) 12月6日	市制65周年記念 音楽監督 都築 正道 指揮 ゲリット・プリースニッツ ソプラノ 腰越 満美 アルト 大田 亮子 テノール 真野 郁夫 バリトン 呉 承容 コンサートマスター 加藤 完二 合奏指導 加藤 完二 合唱指導 吉川 朗 管弦楽 春日井市交響楽団 80名 合唱 春日井市民第九合唱団 218名 入場者数 920名	  	〈社 会〉 裁判員制度開始
第18回 2010年 (平成22年) 12月5日	市制65周年記念 音楽監督 都築 正道 指揮 ロレンツ・クリストフ・アイヒナー ソプラノ チョ・ヒョネ アルト 大田 亮子 テノール イー・ウォン・ヨン バリトン キム・ミン・スク 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 滝沢 博 管弦楽 春日井市交響楽団 79名 合唱 春日井市民第九合唱団 223名 入場者数 1020名		〈社 会〉 バンクーバー冬季五輪 K-POPブーム
第19回 2011年 (平成23年) 12月4日	東日本大震災 音楽監督 都築 正道 指揮 チヨン・チュン ソプラノ 二宮 咲子 アルト 三輪 陽子 テノール ハ・ソクベ バリトン ス キム・ミンスク 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 滝沢 博 管弦楽 春日井市交響楽団 85名 合唱 春日井市民第九合唱団 232名 入場者数 993名		〈社 会〉 東日本大震災 サッカー女子Wカップ 日本優勝
第20回 2012年 (平成24年) 11月4日	ワーグナー作曲『ローエングリン』より 「エルザの大聖堂への入場」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 並河 寿美 アルト 河村 典子 テノール 松本 薫平 バリトン 田中 勉 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 81名 合唱 春日井市民第九合唱団 232名 入場者数 1040名	   	〈社 会〉 東京スカイツリー開業 ロンドン五輪



30年の歩み History

西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
第21回 2013年 (平成25年) 12月1日	春日井市制70周年記念 シベリウス作曲 「フィンランディア」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 飯田 みち代 アルト 河村 典子 テノール 小貫 岩夫 バリトン 田中 勉 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 83名 合唱 春日井市民第九合唱団 250名 入場者数 954名		〈春日井市〉 春日井市制70周年 〈社 会〉 富士山が世界文化遺産登録
第22回 2014年 (平成26年) 11月23日	ポロディン作曲 歌劇『イーゴリ公』より 「ダツタン人(ポロヴェッツ人)の踊り」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 日比野 景 アルト 河村 典子 テノール 中井 亮一 バリトン 松下 伸也 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 87名 合唱 春日井市民第九合唱団 227名 入場者数 807名 ※全指定席 1,500円		会長に山下 興亜(中部大学長)就任 〈春日井市〉 春日井ナンバー交付開始 春日井広報大使設置 総合保健医療センター開設 〈社 会〉 ソチ冬季五輪 アナと雪の女王 消費税8%へUP
第23回 2015年 (平成27年) 12月6日	源田俊一郎編曲 『ふるさとの四季』より 「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 奥村 育子 アルト 大田 亮子 テノール 大久保 亮 バリトン 松下 伸也 客演コンサートミストレス 鳥居 愛子 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 85名 合唱 春日井市民第九合唱団 227名 入場者数 860名 ※全指定席 A席1,500円 B席1,000円		〈社 会〉 マイナンバー制度 北陸新幹線開業 五郎丸ポーズ
第24回 2016年 (平成28年) 12月4日	エルガー作曲 「威風堂々」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 飯田 みち代 アルト 相可 佐代子 テノール 中川 正崇 バス 伊藤 貴之 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 90名 合唱 春日井市民第九合唱団 214名 入場者数 851名		〈春日井市〉 文化・スポーツ都市宣言 〈社 会〉 リオ五輪 熊本地震 ポケモンGO
第25回 2017年 (平成29年) 12月3日	文化・スポーツ都市宣言記念 チャイコフスキー作曲 序曲「1812年」 音楽監督 井村 誠貴 指揮 岸本 沙恵子 ソプラノ 飯田 みち代 アルト 早川 朋子 テノール 松本 薫平 バス 片桐 直樹 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 87名 合唱 春日井市民第九合唱団 238名 入場者数 790名		会長に石原 修(中部大学長)就任 〈社 会〉 米トランプ大統領就任

西暦(和暦)	演奏会内容	フォトギャラリー	主な出来事
第26回 2018年 (平成30年) 12月2日	春日井市制75周年記念 ヴェルディ作曲 『アイダ』より「凱旋行進曲」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 飯田 みち代 アルト 河村 典子 テノール 中井 亮一 バリトン 田中 由也 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也 管弦楽 春日井市交響楽団 80名 合唱 春日井市民第九合唱団 214名 賛助出演 成瀬ひろみバレエスタジオ 中部大学春日丘高等学校吹奏楽部 入場者数 875名		〈春日井市〉 グルッポふじとう開設 〈社 会〉 西日本豪雨 北海道地震 平昌五輪
第27回 2019年 (令和元年) 12月8日	マスカーニ作曲 歌劇「カヴァレリア・アルスティカーナ」より 「前奏曲」「間奏曲」「復活祭の合唱」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 國光 ともこ アルト 河村 典子 テノール 松本 薫平 バリトン 池田 真己 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也、西畑 佳澄 管弦楽 春日井市交響楽団 81名 合唱 春日井市民第九合唱団 200名 賛助出演 春日井児童合唱団 入場者数 839名		〈春日井市〉 あい農パーク春日井開設 〈社 会〉 天皇陛下即位 新元号「令和」
2020年 (令和2年)	新型コロナウイルス感染拡大の為、開催中止		〈社 会〉 新型コロナパンデミック 東京五輪延期
第28回 2021年 (令和3年) 12月5日	ルロイ・アンダーソン作曲 「クリスマス・フェスティバル」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 伊藤 晴 アルト 相可 佐代子 テノール 大久保 亮 バス 伊藤 貴之 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也、西畑 佳澄 管弦楽 春日井市交響楽団 67名 合唱 春日井市民第九合唱団 88名 入場者数 278名		会長に竹内 芳美(中部大学長) 就任 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出演者および客席数を制限して開催 〈春日井市〉 スポーレ春日井開設 〈社 会〉 東京五輪
第29回 2022年 (令和4年) 12月4日	源田俊一郎編曲 「ふるさとの四季」より 「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「村祭」「紅葉」「雪」 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 飯田 みち代 アルト 石原 まりあ テノール 古屋 彰久 バリトン 池田 真己 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也、西畑 佳澄 管弦楽 春日井市交響楽団 66名 合唱 春日井市民第九合唱団 110名 入場者数 489名		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出演者および客席数を制限して開催 〈春日井市〉 石黒 直樹氏 市長就任 ぐりんぐりん開設 〈社 会〉 北京冬季五輪 成人年齢18歳に ロシア・ウクライナ戦争
第30回 2023年 (令和5年) 12月10日	春日井市制80周年記念・第30回記念 古関裕而作曲 「わがまち春日井」 ヨハン・シュトラウス2世作曲 喜歌劇「こもり」より抜粋 音楽監督・指揮 井村 誠貴 ソプラノ 小林 厚子 アルト 相可 佐代子 テノール 松本 薫平 バリトン 池田 真己 客演コンサートマスター 平光 真彌 合唱指導 松下 伸也、西畑 佳澄 管弦楽 春日井市交響楽団 合唱 春日井市民第九合唱団 賛助出演 成瀬ひろみバレエスタジオ		〈春日井市〉 春日井市制80周年 朝宮公園の再整備完了 〈社 会〉 WBC 日本優勝 G7広島サミット開催 大谷翔平 日本人初 ア・リーグ本塁打王 藤井聡太八冠 史上初八大タイトル制覇

<わがまち春日井>

作詩：岡本 淳三
作曲：古関 裕而

一、このまち ひかりの

朝がある

このまち 笑顔の

花が咲く

※はずんだ声で

おはようさん

はたらく汗の よろこびを

知ってる仲間だ 友だちだ

わがまち春日井

伸びるまち

二、このまち きらめく

川がある

このまち みどりの

風が吹く

※げんきな声で こんにちは

並木の道を しあわせが

口ぶえ鳴らして

やってくる

わがまち春日井

伸びるまち

三、このまち 祖先の

声がある

このまち はてない

あすが呼ぶ

※明るい声で こんにちは

はるかな空に

またたくは

希望をささやく 北斗星

わがまち春日井

伸びるまち



<歓喜の歌>

作詞：なかにし 礼

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高だかき乙女を勝ち得たものよ
手かんをとり歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ

許諾番号：2306791-301